

# 令和3年度 学力向上指導改善プラン

学校教育目標		夢に向かって堂々と歩む子の育成 ～人とながり 笑顔あふれる <b>心ばかばかな</b> けやきっ子～			
推進主体		管理職と主幹教諭、学年・教務主任による学校教育改革推進委員会を設置し、以下の改善プランを策定			
学力に関する前年度の課題・経年の課題					
学力の状況	これまでの全国学力・学習状況調査結果の状況(教科に関する質問紙調査の結果も含む)	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的に応じて、複数の本や文章等を選んで読むことや、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。◆また、記述式の問題の最後の無回答率が高い。これは、時間が足りなくて回答できなかったと考えられる。これらの課題に対する取り組みの具体として、①朝学習等、基礎・基本の充実を図る時間を設定する。また、国語辞典や漢字辞典を日常的に使うようにする。②必要に応じて適切な本を選び、豊かな読書活動を行うことで、自分の考えを広めたり、深めたりできるようにしていく。本で読んで考えたことを伝え合う学習を取り入れていく。③本や文章から必要な語句や文を引用することができるようにする。</li> </ul>		
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取れる内容を選び出すことに課題がある。◆また、記述式問題については、立式の理由を複数のキーワードをつないで答えることに課題がある。◆これらの課題に対する取り組みの具体として、①問題解決にあたり情報の中から「条件に合うもの」や「キーワードとなる言葉」を選択していく学習や、ノート指導やホワイトボードを使って書いて説明する学習を充実させていく。②複数の情報を関連付けて、論理的に考察し、判断の理由を数学的に表現する思考を日常の授業で取り組んでいくようにする。③規則性を見出し、条件の合う事柄について、授業の交流で行う必要がある。算数の授業だけでなく他教科(理科・社会)でもグラフの意味を考えさせるようにする。◆正答率が後半になるほど低くなるのは、問題を解く速さに課題があると考えられる。時間を区切って練習するようにする。</li> </ul>		
	単元・学期末テストなどによる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆算数科においては、基本の計算力が身につけている児童が多いが、文章題での活用や記述に課題のある児童もみられる。</li> <li>◆文章題から読み取ったことを適切な言葉で表現することや要約することが難しい児童がいる。</li> <li>◆国語のテスト以外では、漢字を活用できていない児童がいる。</li> <li>◆基本的な計算に時間のかかる児童や計算のケアレスミスのある児童が見られる。</li> </ul>			
	授業等からうかがえる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文章を書く(ふりがえりの記述を含む)ことに時間のかかる児童がいる。</li> <li>◆発表時に必要な声の出し方・姿勢が身に付いていない児童がいる。</li> <li>◆入學時にひらがなの読める子・読めない子、数の概念が入っている子・入っていない子の差が大きい。</li> <li>◆最後まで話の聞けない児童がいる。</li> <li>◆線分図や関係図等が書けるが答えと図が一致しない児童がいる。</li> <li>◆問題の解き方は、わかっているが計算でつまづく児童がいる。</li> <li>◆家庭学習の定着が難しい児童がいる。</li> <li>◆学習に必要な持ち物が揃わない児童がいる。</li> </ul>			
慣・学力向上に係る生活習慣等の学習	学校評価などのアンケート調査やこれまでの全国学力・学習状況調査の質問紙の経年変化による児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域社会への関心が少し低い。◆地域行事について、①「学校だより」や「学年だより」で紹介する。②事前に各学級担任が児童に声をかける。③教職員も参加する。④児童の発表の場を設定する。等の工夫を行い児童の参加を促しているが、今後もこれらの取り組みを継続していく。</li> <li>◆「あいさつ・そうじ・持ち物への記名」「履き物をそろえる」「廊下の右側を静かに歩く」「下駄箱の使い方」を重点的に継続指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すこやかな体づくりをめざす</li> <li>○子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうとしていたりしている」項目で運動・遊びができていのかを確認する</li> <li>○生活習慣の確立をめざす</li> </ul>		
	校内研究・研修の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマに算数科の研究に取り組んでいる。</li> <li>◆よりよい授業づくりのための事前・事後研修を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保・幼・小・中・高の連携を図る</li> <li>○学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で掃除ができていのかを確認する</li> <li>○子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうとしていたりしている」項目で運動・遊びができていのかを確認する</li> <li>○生活習慣の確立をめざす</li> </ul>		
家庭・校種間連携	家庭・地域等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーや学校支援ボランティアの協力を得て、学習の成果をあげている。今後も、より効果的な学習活動を工夫し、更なる人材の確保に努めたい。</li> <li>○令和元年度より、地域コーディネーターが決定し、三田型コミュニティスクールとなっている。令和2年度より、地域コーディネーター2名に協力頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域との連携を図る</li> <li>○学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>		
	小・中における教科連携等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して継続的な保・幼・小・中・高の交流を計画的に実施している。</li> <li>○けやき台中学校区青少年健全育成連携連絡会を定期開催し、児童・生徒の情報交換や授業参観等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保・幼・小・中・高の連携を図る</li> <li>○学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> </ul>		
		4月	2～3月		
		成果となる目標	具体的な行動目標		
		(指標となる数値等)	(成果目標達成のための具体的な手立て等)		
		学力向上に向けての重点的な目標	年度末評価		
			(今年度の成果と来年度に向けた課題等)		
			評価		
		○豊かな心の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校いじめ防止基本方針」にもとづき、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のための取り組みを行う</li> <li>・けやき台中生徒会作成いじめ防止啓発カレンダーを校内に掲示する</li> <li>・情報モラル教育講演会を実施し、人権に配慮した正しいコミュニケーション方法を学ぶ機会を設定する</li> <li>・学期はじめに「あいさつ運動」(教師・児童会)を実施し、めざす児童像の「人とながら子」をめざす</li> <li>・学校外の教育力(ゲストティーチャー)を活用し、多様な考え方や生き方・表現等にふれさせる場を設定する</li> <li>・道徳教科書「あかつき」の他「こころはばたく」「心きらめく」「心ときめく」等を活用して、道徳教育・人権教育の充実を図る</li> <li>・人権参観(ハートフル参観)を実施する</li> <li>・人権標語(ハートフル標語)を考える機会を設定する</li> <li>・特別活動委員会を中心に、学級会・児童会を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの「言葉使いに気をつけて、友だちと仲良くしている」の項目で、児童・保護者・職員9割以上の肯定評価を得た。また、「自分から進んで明るくあいさつしている」の項目では、児童・職員9割以上・保護者8割以上の肯定評価を得た。「めざす児童像」の実現を図るために、職員による下駄箱付近でのあいさつ運動やPTAによる朝の立ち当番の実施、地域の見守りタイムに声をかけている等の取り組みを行っているが、今後も引き続き「人とながら子」(さわやかなあいさつ・明るくあいさつができる児童)の育成をめざして、働きかけを工夫していく。</li> <li>・「人権教育」「生徒指導」等の課題別研修を実施し、職員が学ぶ場を設定した。</li> <li>・人権参観(全学年)を6月に実施。</li> <li>・学期ごとに「いじめアンケート」を実施。</li> <li>・児童が考えた人権標語を定期的に学年をかえて給食室横に掲示することで、年間を通して人権標語にふれることができるようにしている。</li> <li>・ゲストティーチャーによる「環境教育・福祉教育」(3年)「防災教育・国際理解教育」(4年)「自動車工場の仕事体験」(5年)「サイバー講習」(3・4年)等の授業を実施し、多様な考え方や生き方・表現の仕方にふれる場を設定した。</li> <li>・学校生活支援教員が、ユニバーサルデザイン授業の具体や専門用語の解説等を紙面にまとめて発行し、職員への啓発を行っている。</li> <li>・児童会が中心となって30周年記念オリジナルなマスコットキャラクター・愛唱歌を作った。</li> <li>・子どもたちは、学校教育目標である「けやきのA(エース)をめざせ!」を常に意識して行動することができた。</li> <li>・学校評価アンケート(児童)の「自分は、けやきのA(エース)に近づいている」の項目で94%の肯定評価を得た。</li> </ul>	A
		○本に親しむ子の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月23日を「家族読書の日」とし、学校だよりや図書館だよりで家族読書の啓発を行う</li> <li>・学校司書と連携し、学校図書館と学年文庫の運営を工夫する</li> <li>・学校司書と図書ボランティア(かたつむり)による読み聞かせを継続する</li> <li>・読書週間を設定する</li> <li>・ブックフレンド(図書)委員会の活動を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「児童は、本に親しみ、自ら進んで読書し、読書を楽しんでいる」の項目は、76%の肯定評価であった。そのため、2月に学校だよりや学年だよりで読書の啓発を再度行った。「家族読書の日」の取り組みについては、来年度も継続していくようにする。</li> <li>・学校司書と図書ボランティアさんによる読み聞かせ(1～3年)を継続・実施している。</li> <li>・本に親しむ子を育成するために、図書館だよりによる啓発や本棚の配置・選書の工夫を行っている。</li> </ul>	B
		○基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもアンケートの「学校の勉強がわかる」の項目で9割以上の肯定評価をめざす</li> <li>・朝の学習タイムを継続する(算数)</li> <li>・各学年児童の実態を考慮した、学力向上に向けての取り組みを工夫する。</li> <li>・放課後学習日や夏期休業期間等に学力保障(個別指導)を行う</li> <li>・「がんばりタイム」を継続実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習日(毎月)を設定し、個別指導を実施している。(全学年)</li> <li>・「ひょうごがんばりタイム」(計算に特化)を継続・実施している。(2～3年)</li> <li>・個別指導の時間の確保や「朝の学習タイム」の内容の工夫により、子どもアンケート「学校の勉強がよくわかる」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>・学力向上に向けて、学年独自の取り組みを行っている。</li> </ul>	A
		○思考力の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりを行い、思考力の育成をめざす</li> <li>・授業研究を行い、全職員で授業力向上に努める</li> <li>・1月に算数科研究発表会を実施する</li> <li>・新学習システム(5・6年)と担任が連携し、児童理解と指導を行う</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、授業改善を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「研究」の項目で100%の肯定評価を得た。</li> <li>・研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりをめざし、授業研究を計画的に実施した。</li> <li>・1月に算数科研究発表会を実施。3月に研究の成果と課題を冊子にまとめ、職員で共通理解する場を設定する予定。</li> <li>・年間を通して、新学習システム教員と担任の打ち合わせ日を設定し、授業内容・進捗等を確認するようにした。</li> </ul>	A
		○すこやかな体づくりをめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びができるよう環境整備を行う</li> <li>・スポーツ(体育)委員会の活動を支援する</li> <li>・栄養教諭と連携し、食育を計画的に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもアンケート「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうとしている」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>・全学年、栄養教諭と連携し、食育を計画的に実施。児童は、食事の仕方や身体と栄養、環境問題等について学習できた。</li> <li>・ランチ委員会が残食ゼロをめざした活動を行い、児童の食に関する意識が高まってきている。</li> <li>・スポーツ委員会主催の大縄記録会に向けて、全クラスが休み時間に練習し、跳べる回数(記録)を伸ばすことができた。</li> </ul>	A
		○生活習慣の確立をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざす児童像」を学校だよりや学級集会などで提示し、家庭での協力を求める</li> <li>・校内に「学校教育目標」(けやきのA(エース)をめざせ!)や「めざす児童像」(人とながり笑顔あふれる心ばかばかなけやきっ子)の具体を示す合言葉「あかるくあいさつ」「あきらめず挑戦」「あつたかこぼ」「もくもくそうじ」「響き合う歌声」を掲示し、全校生が意識できるようにする</li> <li>・掃除が積極的に行えるように、掃除用具の点検や指導の工夫をする</li> <li>・学校ピカピカ(美化)委員会の活動を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で、職員・児童の9割以上の肯定評価を得た。1学期に6年生が1年生と掃除を行うことや、学年に応じた清掃指導の工夫等の成果と捉えている。</li> <li>・「4つの合言葉」(けやきのA(エース)をめざせ!)等を児童玄関や給食室付近に掲示することや全校朝会で話題にすることで、児童が「めざす児童像」を意識して行動できるようにした。</li> <li>・PTA運営委員会で報告された「登下校の様子について」の成果と課題は、全校朝会(放送)や学級指導等で伝達指導している。</li> <li>・基本的な生活習慣の確立を図るため、学校だよりや保健だよりで保護者に啓発をしている。</li> </ul>	A
		○校内研究・研修の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、算数科授業研究・人権教育・特別支援教育・生徒指導・食物アレルギー対応などの研修を計画的に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「保・幼・小・中の連携体制を確立し、学びの連続性を踏まえた指導を行っている」の項目で9割以上の肯定評価を得た。</li> <li>・けやき台中学校区連携連絡会を定期開催し、校区の児童・生徒理解を深めた。</li> <li>・10月にけやき台幼稚園(年長)が1年生の運動会練習を見学した。また、11月には、若草保育園(年長)が「1年生の授業参観とクイズ体験」をした。年長園児にとって、小学校生活の様子を知る機会となった。</li> <li>・1月下旬から関係保育所・幼稚園・中学校と児童についての「引き継ぎ会」を実施している。</li> </ul>	A
		○家庭・地域との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で100%の肯定評価を得た。</li> <li>・子ども・保護者アンケート分析結果を学校だより臨時号(3月)にて保護者に配布し、教育活動の成果と課題を共有する予定。</li> <li>・学校地域運営協議会を年3回実施し、「学校運営」 「コミュニティ・スクール」等についての意見交流を行っている。</li> <li>・「3年環境体験」(6・11月)「5年家庭科ミニ」(10月)「1～6年音楽会器楽合奏練習」(10・11月)等の学習時に、学校支援学習ボランティアさんの協力を得て授業を実施し、個別指導の充実を図ることができた。</li> <li>・1月に防災ボランティアさんとともに「阪神・淡路大震災追悼式」を実施。</li> <li>・3月に学校支援学習ボランティアさんと地域コーディネーターさんを招待して、感謝の気持ちを伝える「愛ありがと集會」を実施。</li> <li>・学校評価アンケート(保護者)の「子どもたちは、けやきのA(エース)をめざしてがんばっている」の項目で、90%の肯定評価を得た。</li> <li>・30周年記念事業で校門や校区内に「けやきのA(エース)をめざせ!」の看板・横断幕を設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート(職員)の「保護者・地域・学校支援学習ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で100%の肯定評価を得た。</li> <li>・子ども・保護者アンケート分析結果を学校だより臨時号(3月)にて保護者に配布し、教育活動の成果と課題を共有する予定。</li> <li>・学校地域運営協議会を年3回実施し、「学校運営」 「コミュニティ・スクール」等についての意見交流を行っている。</li> <li>・「3年環境体験」(6・11月)「5年家庭科ミニ」(10月)「1～6年音楽会器楽合奏練習」(10・11月)等の学習時に、学校支援学習ボランティアさんの協力を得て授業を実施し、個別指導の充実を図ることができた。</li> <li>・1月に防災ボランティアさんとともに「阪神・淡路大震災追悼式」を実施。</li> <li>・3月に学校支援学習ボランティアさんと地域コーディネーターさんを招待して、感謝の気持ちを伝える「愛ありがと集會」を実施。</li> <li>・学校評価アンケート(保護者)の「子どもたちは、けやきのA(エース)をめざしてがんばっている」の項目で、90%の肯定評価を得た。</li> <li>・30周年記念事業で校門や校区内に「けやきのA(エース)をめざせ!」の看板・横断幕を設置した。</li> </ul>	A